


長崎市提案型協働事業提案企画書

団 体 名	特定非営利活動法人 新現役の会長崎センター
提案事業の名称	団塊シニア世代セカンドデビュー応援事業
提案事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団塊シニア世代が、これからの人生において求められる情報を提供するツールを構築し、同世代の豊富な知識や経験が有効に発揮できる場や機会（＝「セカンドデビュー」）へのきっかけづくりを効果的に応援する。 ・ 提案団体と担当課が協働して作成する「ツール」として、団塊シニア世代の人物や団体に焦点を当てた活動紹介をはじめ同世代のセカンドデビューを応援する内容を盛り込んだ「情報誌」を作成・発行する。 ・ 情報誌は、情報の一方的な発信にとどまらず、同世代の声や要望をモニタリング・アンケートにより集約し、同世代の潜在的ニーズの把握につなげる。
課題の 緊急性・重要性	<p style="color: red;">* 初年度半期事業を振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団塊シニア世代!!セカンドデビューのすすめ「ながさきダンカーズ」創刊号を9月に発行した。マスコミ各媒体での広報が効果的な役割を果たし、行政の窓口等には当該世代の市民が創刊号を取りに相次ぐなどの予想以上の反応であった。初刷2000部を当月末にて完全配布、行政判断にて2000部が刷増された。 ・ 新現役の会長崎中央 HP への9月アクセス回数は前月比61%アップ、活動への理解度及び入会希望者が増えた。 ・ 紹介した団体の活動に対して、地域住民、行政からの理解度が高まった。 <p style="color: red;">* 事業継続への重要性について（アンケート&ヒアリングから分かったこと）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 世代向け情報紙の発行が待たれていた。 ② 退職後の生活を豊かに過ごすための各種情報が求められている。 ③ 「ながさきダンカーズ」名称が高く認知され、市民から継続発行が望まれた。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>＝次号へ記載内容の充実化を図る＝</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> ① 当該世代が求める情報を取り込む ② 団塊シニア世代人を主役に、元気を伝える
協働の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団塊シニア世代が求める多様なニーズを、当事者（同世代）の立場からの確に把握し、当事者と同じ目線で地域活動団体の情報収集や取材ができる。 ・ 行政の各部署から多角的に発信されている情報を、効率的にセレクト（取捨選択）して集約化できる。 ・ 発行物は行政広報を通じて広くPR・周知し、公共施設内での配布・設置ができる。

<p>協働による 相乗効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・官・民双方の情報の一元化により、情報の発信元同士の交流やネットワークが生まれ、編集会議を経て選定される取材先や掲載内容等、双方の視点や思いを活かし、バランスに優れた精度の高い誌面づくりへとつながる。 ・広報面では、行政機関への設置やイベント時における配布に加え、団体のネットワークを活かし情報の必要な対象者の集まる場での直接配布を行うことができる。
<p>協働の役割分担</p>	<p>提案団体</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 団塊シニア世代の立ち位置で取材を行い、情報誌を作成・発行し配布する。 ② 地域サポート団体（提案団体の持つネットワーク。取材や配布等の活動に協力を得られる団体）の誌面モニタリングや読者からのアンケートを実施する。 <p>担当課</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 団塊シニア世代に関連する行政情報の収集及び提供。 ② 関係窓口での情報誌設置やイベント等での配布、広報 PR を実施する。 ③ 「ながさき市民力ネット」HPにPDF版をアップし、随時アクセス・閲覧を可能にする。

提 案 事 業
の 内 容

○セカンドデビューのきっかけづくりを応援するツールとして、①（団塊シニア世代で活躍する）人物や団体の活動紹介 ②活動参加へのきっかけ・方法 ③官・民のタイムリーな情報の提供 などの内容を盛り込んだ「情報誌」を発行配布する。

〈作成・発行物〉

- ・名称：ながさきダンカーズ
- ・誌面内容

ページ	内 容
1	表紙（団塊シニア世代活動団体の写真）
2	表紙と連動・活動団体紹介
3	表紙と連動・活動団体紹介
4	大人の放課後
5	マイ・バック・ページ（私の一冊 or 私の一曲 or 私的一本）
6	ダンカーズチョイス（情報）
7	ダンカーズチョイス（情報）
8	市民協働推進室、ダンカーズ倶楽部情報

- ・体裁：A4サイズ カラー8ページ
- ・発行：年3回（7月・11月・3月）各3,000部発行（無料）

〈配布方法〉

- ①ターゲットへの手渡し法～2,000部
 - ・団体：団体イベント、地域サポート団体等のネットワークを活かした配布
 - ・担当課：公民館講座、市民協働推進室イベント、伝習所や市民力推進委員会等のネットワークを活かした配布
- ②設置場所から持ち帰り法～1,000部
 - ・団体：団塊シニア世代が集まる飲食店、書店等
 - ・担当課：市民利用施設（本館案内所、市民会館、アマランス、図書館等）へのラック（雑誌棚）設置予定、庁内及び出先機関（行政センター・支所含む）への設置、市民活動センター登録団体への配布等

〈アンケート・モニタリング〉

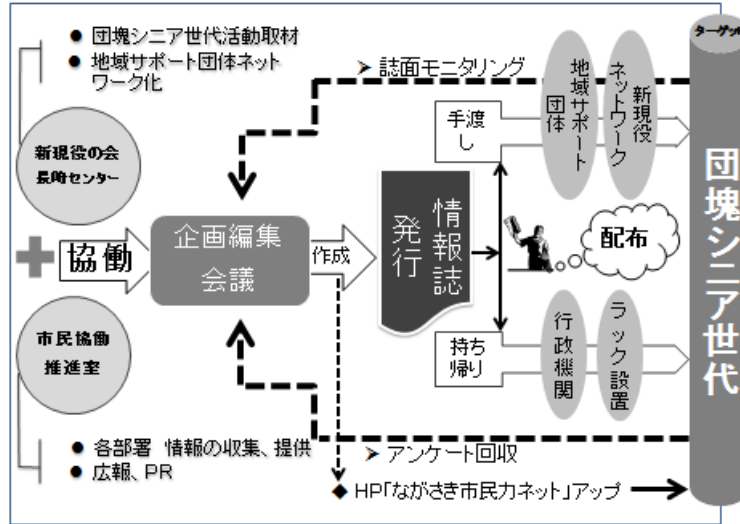
- ・アンケート用紙の差し込みで、読者の声やニーズを把握
- ・地域サポート団体への誌面内容モニタリング実施（15団体300名予定）

〈電子化閲覧〉

- ・担当課HPへのアップにより、随時アクセス・閲覧

提案事業の実施体制

1. 総括責任者：松尾健蔵
2. 個別事業責任者：井手達夫
3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ
 - ・取材、編集：坂本恵子（元「リブながさき」編集長）
 - ・デザイン：田口克実



事業スケジュール

- (1号) 4～6月：企画・取材・編集・校正・印刷 7月配布
 (2号) 7～10月：企画・取材・編集・校正・印刷 11月配布
 (3号) 11～2月：企画・取材・編集・校正・印刷 3月配布
 11月頃（2号発行後）ダンカーズミニ写真展の開催

事業の展望及び今後の活動展開

1. 協働事業終了後の発行について
 - * 2013年度以降も発行を継続する。（発行については下記項目から選択）
 - ①長崎市とNPO等の市民団体との官民協働事業として、民間企業の広告収入を得るなどして年間4回発行の情報誌とする。
 - ②発行元：ダンカーズ倶楽部（仮）など設立、自立した発行形態で継続発行。
2. 団塊シニア世代ネットワーク「ながさきダンカーズ倶楽部」を発足する。
 - * 高齢化社会に対応する地域活性化ネットワーク及びまちづくり活動を推進するHUB的役割を果たす

